

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

「融合化・統括センター化反対 ジョブローテーション撤廃」の声あげよう

3月ダイ改—習志野・千葉・佐倉・蘇我運輸区廃止・統括センター化反対！

強制配転をただちにやめろ

ジョブローテーションによる強制配転が止まることなく行われています。

会社は提案時、「社員自ら主体的にキャリアを描く」などと語っていました。しかし、実際には多くの人は希望もしていない職場に行かされています。

業務上の合理性もありません。実態は何の必要性もない「異動のための異動」が繰り返されています。その結果、異動に伴う訓練も必要になり、要員ひっ迫に拍車がかかっています。



統括センター化・兼務化への
千葉運輸区前行動 (2023/7/1)

千葉運輸区でも、欠勤があった際にその行路をバラして、超勤等で対応せざるをえない状態です。

現場では提案時から不安や怒りの声が上がっていました。現状を見れば、乗

務員の権利と職場の団結破壊のためのものだったことは明らかです。

この中で、休職や退職に追い込まれる人が相次いでいます。JR東日本の離職者率はこの数年で約4倍に増え、21年の中途退職者は767人にもなります。

職場の仲間の仕事への誇りや希望を奪い、生活を破壊し、休職や退職に追い込む制度を許すことはできません。

安全と権利、仲間を守ろう

鉄道の安全は専門的な技術・経験によって守られています。次々に職場を異動させるジョブローテーションはその専門性を軽視し、ないがしろにするものです。

JR千葉支社は3月ダイ改時での習志野・千葉・佐倉運輸区の廃止と統括センター化を提案しています（蘇我運輸区も24年度下期廃止を提案）。さらに現場をないがしろにする攻撃はとも認められません。

乗務員の権利と鉄道の安全を破壊する会社の施策を止め、仲間を守る力は職場からの団結した闘いと労働組合です。3月ダイ改・統括センター化反対、ジョブローテーション撤廃の声を上げよう。